

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和四年六月度 入賞句一覧 投句数 千八百三十八句



特選

星野 勝 選

おとうとにまけじとたべるいちごがり

大垣市

まきの かずま(小三)

休日家族そろって「いちごがり」に出かけたときのひとコマを、すつきりと表しました。甘いいちごがたくさん生っていて、兄として弟には絶対に負けられないという強い気持ちで伝わる句です。まるでお父さん、お母さんの「よいスタート」の掛け声が聞こえてきそうですね。温かいご家族の休日が目に浮かびました。

めのまえでさくらだいとびこしぬかす

大垣市

上田 実紗希(小六)

桜鯛は、桜の咲く頃、産卵期を迎えて桜色に染まるとされ、このことが名前の由来となっているようです。海釣りに出かけたときでしようか。じつと釣糸を垂らして海面を見ていると、予期せず目の前で桜鯛が海面に飛び跳ねたのでしよう。目を丸くして椅子から転げ落ちるくらい驚く作者の姿が目には浮かぶ句ですね。ところで釣りの収穫はどうだったのでしょうか？

夏野菜大きな口でまるかじり

加茂郡川辺町

藤田 未唯(中二)

夏野菜といえば、キュウリ、ピーマン、トマト・・・みずみずしい野菜が頭をよぎります。作者は、新鮮なこれらの野菜をサラダにしようかと台所に立っているのでしょうか。ところが、あまりにその魅力に誘われて、思わず丸かじりしてしまつた姿が目には浮かびます。味はもちろん、野菜をかじる音、飛び散る水しぶき、新鮮な香り・・・五感のすべてが凝縮された句ですね。

秀逸

ゆうやけのあかいひかりにひとめぼれ

大垣市

たかぎ きょうか(小三)

母の日にこころをこめてかたたたき

大垣市

はぎの いつき(小三)

おかあさんいっばいつかれははの日に

大垣市

林田 将真(小三)

はるのありぎようれつつくつてどちらまで

大垣市

岩田 周次朗(小四)

船下りしずかな波とたきの音

大垣市

白石 瑚々海(小五)

舟下り水面にうつる青葉光

大垣市

小野 結月愛(小五)

こいと舟ならんで競走夏の川

大垣市

伊藤 陽彩(小五)

向日葵に教わる人生うつむくな

加茂郡川辺町

山口 翔大(中二)

汗ぬぐいミスト見つけて早歩き

加茂郡川辺町

山下 華嘉(中二)

すいかわりどこだどこだと大さわぎ

大垣市

ほり川 あんじゅ(小三)

入選

小中学生の部

かたつむりかぞくみんなでまったりと	大垣市	吉田 奈恩(小二)
夏の川水面にうつる葉々の影	大垣市	渡邊 真愛(小六)
夏の川流れにまかせコイ下る	大垣市	若園 大寛(小六)
弟とキーンとひえたかき氷	大垣市	陸田 篤希(小四)
なつやすみそばかすふえたそとあそび	大垣市	西村 れいま(小三)
おにごっこわたしがおにでにげるちよう	大垣市	安田 彩乃(小三)
こいのぼりゆらゆらゆれるフラダンス	大垣市	伊藤 絢音(小三)
ねこのこいおうえんするがしつれんだ	大垣市	坂 ひまり(小四)
たらい舟みなもにうつる夏日かけ	大垣市	浅野 花瑠(小五)
舟下り水面をかける初夏の風	大垣市	後藤 彩乃(小五)
あじさいの水やり雨にまかせるよ	大垣市	松井 雄々介(小五)
かたつむりからの中でのひきこもり	大垣市	岩崎 絢叶(小五)
早朝の初夏をおわす水たまり	大垣市	伊藤 百花(小六)
夏の日にまでどかからぬ魚つり	大垣市	中村 登哉(小六)
手を上げろいとこが向けた水鉄砲	加茂郡川辺町	中山 竜鳳(中二)
コロナ禍に家で開催夏祭り	加茂郡川辺町	伊藤 桃佳(中二)
このトマト君みたいだと頬染める	加茂郡川辺町	羽根 美葉(中三)
一息と木下闇で一時を	加茂郡川辺町	都築 さやか(中三)
朝鳴いてふわりととび立つマメつばめ	大垣市	おせき 右京(小三)
だいがつしょうおなかすいたとつばめのこ	大垣市	まつふね めい(小四)

選者吟

校庭に児らの声聞く梅雨晴間

勝

